

オープンとくしま・パブリックコメント

「徳島県男女共同参画基本計画(第5次)」素案 意見提出

提出者： コグニティ株式会社(企業)
住所： 東京都品川区西大井一丁目1番2-208号
電話番号： 03-4212-8445
FAX番号： なし
年齢： 20代～60代が所属

1)意見の背景

コグニティ株式会社(以下コグニティ)は、2013年の創業以来、従業員全員がテレワークで従事しているIT企業で、2018年より徳島県にサテライトオフィスを設置しております。現在徳島県内の従事者は26名で、その女性比率は9割を超えています。徳島県での女性活躍環境の整備は、既存および今後におけるコグニティの従業員にとっても影響の大きい事項であることから、今回以下の通り意見を述べさせていただきます。

2)意見の概要

「徳島県男女共同参画基本計画(第5次)」素案についてのより具体的な施策を実施いただくために、これまでコグニティで実施した徳島県内人材の採用時・採用後のスキル状況や、徳島県外での地方自治体での取り組みを踏まえ、以下の2点について提言します。

- 提言1:離職者・未就業者向けだけでなく、就業中の女性に対するICTスキルの底上げとして、基礎的なスキルアップ支援が必要であること
- 提言2:就業者がよりスキルアップを目指すために、個人の意志に依存した“リカレント教育”だけでなく、企業と共に支援する“リスキリング支援”の導入を促すこと

3)提言1:離職者・未就業者向けだけでなく、就業中の女性に対するICTスキルの底上げとして、基礎的なスキルアップ支援が必要であること

対象となる施策番号:

- I-1-(2)女性のキャリアアップに対する支援、デジタル人材の育成
- I-2-(1)テレワークの一層の普及など、多様で新しい働き方の創出

○ 素案P.8(PDFのP.9)の「(2)女性のキャリアアップに対する支援、デジタル人材の育成」の項における①～⑦の施策では、それぞれ「離職者・未就業者」「女性管理職」「企業のDX担当者」を対象としたものや、「社会進出などレベルの高い活動・スキルのための講座」となっています。

○ 現在の施策では、就業中の女性に対する施策の不足、および基礎的なICTスキルアップ施策が不足していると考えます。具体的には項番⑧を追加新設し、「⑧ 就業中の女性のキャリアアップ・育成支援策として、離職者と同等もしくは現場で必要とされるレベルに応じた基礎的スキルアップ講座を実施します。」などの文言追加を要望します。

○ コグニティでは2016年から現在に至るまで、幅広い職種を対象とした採用活動を行ってきました。採用活動および採用後の社内就業状況を鑑みた時に東京など都市圏での採用と比較し、ICTツールを利用した基礎的業務およびデジタル・テレワークとして必須の「報連相」に困難を極める人材が多いと考えています。これは徳島県だけの状況ではなく、他の地方採用にも共通した課題です。これは都市圏と比較して、既存の就業経験から基礎的なICTスキルを得ることが難しい現状に理由があると考えています。

○ 令和4年度の内閣府「地方創生テレワークモデル創出事業」における協力事業者であるコグニティは、地方におけるテレワーク推進の一環として、秋田県秋田市にて「IT基礎講座」を2022年11月から2023年2月までに6日間・計16回実施しました(注1)。その結果として既に50名以上の参加があり、「実際に使う画面を操作することができ、不安が減った」「テレワークを始めるためのスキルレベルがイメージができた」「市主催のパソコン教室などでも同じ内容を取り入れてほしい」などの感想を得ています。

○ テレワークの普及によって、県外からの仕事を受託できる機会も含め、業務機会の増加可能性が高まっているにもかかわらず県内の女性の就業機会が伸び悩む理由として、「基礎スキルとしての一歩目ができないことにより、就業できない・継続できないこと」が大きく影響していると考えます。

○ この状況を解決するためにも、女性のデジタル人材の育成、およびテレワークの一層普及にかかわる施策として、離職中・就業中を問わず参加できる基礎的スキル講座の実施・促進を要望します。

(注1) <https://cognitee.com/docs/COGEVENT202211.pdf>

4)提言2:就業者がよりスキルアップを目指すために、個人の意志に依存した“リカレント教育”だけでなく、企業と共に支援する“リスキリング支援”の導入を促すこと

対象となる施策番号:

I-1-(2)女性のキャリアアップに対する支援、デジタル人材の育成

○ 女性へのキャリア支援として「リスキリング」への対応を要望します。具体的には、素案のP.8「(2)女性のキャリアアップに対する支援、デジタル人材の育成」の項における1段落目の「ライフステージに合わせたリカレント教育を実施し、女性の活躍を支援します。」について、「ライフステージに合わせたリカレント教育およびリスキリング支援を実施し、女性の活躍を支援します。」と修正した上で、追加項番として「⑨ 上記①～⑧における施策は、リスキリング支援の観点から、対象者の所属する企業を通じた実施を可能とし、女性が参加しやすい環境を推進します。」などの文言追加を要望します。

○ 「リカレント」とは主に休職・退職時において個人主導によるスキルアップを目指す行為を指すのに対して、「リスキリング」は企業主導で従業員のスキルアップを支援することと定義されています(注2)。

○ 過去コグニティ社内で実施したスキルアップ研修や研修費用を会社負担とした講座において、女性は100%の出席率でした。しかし、徳島県内外で実施する任意参加の講座への参加率は非常に低く、従業員の10%に満たないと把握しています。女性の学習意欲が非常に高いにもかかわらず、会社支援ではない学習機会に参加しない理由として「家事・育児との両立のために、学習時間を作れない」「家事・育児の時間や費用を削ってまで参加しにくい」というコメントが多く出ます。

○ 女性が持つ学習意欲を支援するためには、県からの予算で講座を実施するだけでは参加しづらい層がいることは現実で、それは特に就業中の女性に多くいる状態です。県が実施する施策を有効活用するためにも、家族・家庭の理解だけでなく、所属企業からの理解と支援が必須だと考えます。そのためにも、支援策・講座への女性参加について、企業を通して促すことを明記することを要望します。

(注2) <https://biz.teachme.jp/blog/reskilling/>
<https://diamond.jp/articles/-/303393>

5)素案への要望案

以下のように、文言追加を要望します。(下線部が追加提案箇所)

(2)女性のキャリアアップに対する支援、デジタル人材の育成

出産や育児、介護等により離職せざるを得なかった女性の再就職や、これから働こうとしている女性、また、管理職等をめざす女性のキャリアアップやデジタルスキル等の習得を図るための講座・セミナー開催などによる、ライフステージに合わせたリカレント教育およびリスキリング支援を実施し、女性の活躍を支援します。

① 出産や育児、介護等により離職せざるを得なかった女性の再就職準備や就労を支援するため、就職に関する情報の提供やスキルアップに向けた講座等を実施します。

② 管理職をはじめキャリアアップを目指す女性を支援するため、ICTツールを活用した、働きながら学べる講座を実施します。

③ とくしま経営塾「平成長久館」において、「DXの促進(デジタル人材の育成)」を重点項目のひとつとし、企業の新分野への事業展開(DX)を支援するため、セミナーやワークショップ等を開催することにより、開発者や営業担当のデジタル能力向上や生産性向上、新たな事業展開につながる人材を育成します。

④ テクノスクールにおいて、就業に必要な技能を習得するための職業訓練を実施します。

⑤ 大学や企業、民間団体等と連携しながら、女性や若者の自己実現と社会貢献に向けた学びの場である「とくしまフューチャーアカデミー*1」において女性デジタル人材の育成などリカレント教育を実施し、主体的な社会参画を促します。

⑥ 男女共同参画総合支援センター内に設置した「すだちくんハローワーク*2(分室)」により求職者の利便性を図るとともに、創業相談など各種相談を実施することにより就労を支援します。

⑦「とくしまリカレント教育支援センター*3」において、リカレントに関する講座の一元的な情報発信や、高等教育機関と連携した新たなリカレントプログラムを提供します。

⑧ 就業中の女性のキャリアアップ・育成支援策として、離職者と同等もしくは現場で必要とされるレベルに応じた基礎的スキルアップ講座を実施します。

⑨ 上記①～⑧における施策は、リスキリング支援の観点から、対象者の所属する企業を通じた実施を可能とし、女性が参加しやすい環境を推進します。

以上。